

【にんげん部門（中学生の部）・佳作賞】

人生という意味

札幌大谷中学校 3年 永井 純海

人生は不思議だ。考えれば考えるほどよく分からない。人が生まれること、そしていつか死ぬこと。寿命は人それぞれだし、突然の事故や病気で私と同じ年齢で亡くなる人もいれば、人生100年って言葉もよく聞くくらい長生きする人もいる。死後の世界もよく分からない。想いがつながっていて、ふとしたときに感じることもあるかもしれないけれど、生きていたときのように話したり、触れたりすることはできない。だから、私はやっぱりまだ死にたくない。今の自分も家族も好きだし、将来の夢や目標もある。私の成長を両親にも見てもらいたいし、兄たちが結婚して家庭をもち、甥っ子や姪っ子ができるもの楽しみだ。だから、私は今の人生を大切にしたい。

だけど、悲しいことや悔しいことがあったときに、私の生きている意味を考えることがある。他の誰かをうらやましく思うこともある。もっと自分がこうなればいいなって憧れることがある。けど、私は努力することで、自分がなりたい自分に近づけると信じている。一度きりの人生だけど、まだまだ始まったばかりで、これからの長い人生を笑顔で過ごすために、今、できることがたくさんあると思う。

今の私に分かるのは、人生は一度きりということ。だから、今、生きている毎日を大切に過ごそうと思う。勉強では、分からない問題も多いけれど、繰り返し解くことでいつか分かるようになる。部活では、目標に向かって努力を続け、着実に近づいていると実感している。私が今できることを精一杯やること。それが今の私の人生。毎日を振り返って、今日も頑張ったねって自分で自分に言えるように、そしてそれを積み重ねていくことが、私の人生の足跡になると思う。

人生は不思議だ。だけど、何だか楽しそう。これからも笑顔で、毎日を自分らしく過ごしていきたい。